

# 中学生へのおすすめ本リスト



# 目 次

日本の文学	1
外国の文学	7
ノンフィクション	15

# 日本の文学

# 羅生門 杜子春

芥川龍之介 / 作

岩波書店 2000年 913ア



『羅生門』荒廃した羅生門の下、主人に解雇され、飢え死にするか、盗人になるかの選択にせまられた下人がいた。下人が羅生門の楼の上に出ると、死人の髪の毛を抜いている老婆がいた。

その他、『杜子春』『蜘蛛の糸』『鼻』など、全12編。

# 鬼の橋

伊藤遊 / 作

福音館書店 1998年 913イ



妹を死なせたことを悔やみ続ける 篋 は、ある日、妹が落ちた井戸の底へと吸い込まれる。そこには、死者の世界へ続く橋がかかっていた。その橋を渡り始めた篋は、鬼につかまり食われそうになるが、橋の番人に助けられる。

# 獣の奏者

## 闘蛇編

上橋菜穂子 / 作

講談社 2006年 913ウ



戦闘用の闘蛇の世話をする母と暮らすエリン。闘蛇が一度に何頭も死んだ責任を負って母が処刑され、エリンは一人ぼっちになるが、蜂飼いのジョウンに助けられた。ある日、山中で天を翔ける野生の王獣に出会い、母の様に“獣ノ医術師”の道を歩き始める。続編は、『王獣編』『探求編』『完結編』『外伝刹那』。

ヒ ャ ッ キ ロ  
100km!

片川優子 / 著

講談社 2010年 913カ



高校 1 年生のみちるは、スポーツ全般が苦手で、中学校のマラソンもビリ。それなのに叔父のけんちゃんが、“三河湾チャリティー100Km歩け歩け大会”に勝手に申し込んでしまった。おまけにけんちゃん不参加。みちるはエントリーを取り消そうとするが…。

## ボーイズ・ビー

桂望実 / 著

小学館 2004年 Fカ



小6の隼人は最近母を亡くし、小1の弟、父と3人暮らしだ。家事や弟の世話を一人で引き受け、がんばっている。今の最大の悩みは、弟に母の死を理解させること。偶然出会った靴職人の老人栄造に、悩みを相談してみることにした。

## セカンドウィンド

川西蘭 / 著

小学館 2010年 BFカ



主人公の溝口洋<sup>みぞくちひろし</sup>は、中学2年生。毎日、宝物の中古の自転車で雲見峠を走っている。ある日、峠の中腹でロードバイクの一団に追い抜かれ、最後尾を走っていたジュニアチームの一人から「邪魔」とペットボトルを投げつけられた。洋は猛然<sup>もうぜん</sup>と追走するが、急カーブで転倒してしまう。続編あり。

# 古事記物語

福永武彦 / 作

岩波書店 1957年 913コ



日本で最初に書かれた書物『古事記』を子ども向けに書き直したものの、「天の岩屋」では、アマテラス大御神とスサノオノ命の姉弟が、どちらが正しいかを明らかにするための儀式をしたという、宗像三女神の誕生にまつわる伝説についてもふれられている。

# きみの友だち

重松清 / 著

新潮社 2005年 Fシ



恵美は、小学校の時に事故に遭い、松葉杖が手放せない生活を送っている。事故をきっかけにしてクラスの“みんな”と距離を置くようになった。そんな中、恵美と距離を縮めたのが由香。彼女は病気がちで、気が弱く、いつも“みんな”から離れていた。二人は、次第に心を通わせていく。

# 天山の巫女ソニン 1 黄金の燕

菅野雪虫 / 作

講談社 2006年 913ス



天山には、予言をする力を持つ巫女たちが住んでいた。ソニンは、天山に引き取られたが、修行の後、見込み違いだったと里へ帰される。ある日、口のきけない末の王子の落とし物を届けたソニンには、彼の声を聞く力があるとわかり、侍女としてお城で働くことになる。ところが、王子たちに毒が盛られ、ソニンに疑いがかかる。

# 戸村飯店青春100連発

瀬尾まいこ / 作  
理論社 2008年 Fセ



要領ようりょうのいい兄ヘイスケは、大阪の町や家業の中華料理店に居心地の悪さを感じ、東京へ飛び出す。一方、不器用だが明るい弟のコウスケは、戸村飯店を継ぐのは自分だと思っていたが、父親は認めない。以前は話もしなかった兄弟だったが、コウスケは東京の兄の元へ向かう。

# 砂漠の国からフォフォー

中川なをみ / 作 舟橋全二 / 画  
くもん出版 2005年 913ナ



辻野あゆらは、青年海外協力隊の試験に合格し、幼稚園の先生として西アフリカのニジェール共和国にやってきた。

幼稚園の厳しい教育、男女差別、一夫多妻制など、宗教や文化、習慣の違いに戸惑っていたあゆらだが、少しずつ現地の生活になじんでいく。

# ドイツさん

原田一美 / 著  
未知谷 2005年 913八



第1次世界大戦中の四国徳島ぼんどう坂東町。お遍路へんろさんを温かく迎えるこの町に、ドイツ人ふりょ俘虜の収容施設ができた。不安と偏見へんけんの目で見つめる町の人々。そんな矢先、俘虜の脱走事件が起き、処罰いなか否か...迷う所長・松江の元に1通の手紙が届く。

実際の出来事をもとに描かれたノンフィクション・ノベル。

# 熱風

福田隆浩 / 著

講談社 2008年 913フ



身体<sup>からだ</sup>にハンデを負う少年、孝司。そんな孝司は、テニスに打ち込んでいた。ある日、初対面から挑戦的な態度をとる中山と対戦し、完敗する。気に入らないやつだと孝司は腹を立てるが、中山は孝司のいるクラブに転入。なんと、コーチはダブルスを組ませるといふ。

# 鉄のしぶきがはねる

まはら三桃 / 著

講談社 2011年 913マ



工業高校機械科 1年唯一の女子、三郷心<sup>みさとしん</sup>。コンピュータに没頭<sup>ぼっとう</sup>していた心が、「ものづくり研究部」に引きずり込まれる。フライス盤の手触り、鉄の塊<sup>かたまり</sup>を真っ二つにした時の強烈な衝撃に心を奪われてしまった心は、旋盤技術<sup>せんばん</sup>を競う<高校生ものづくりコンテスト>を、仲間たちと一緒に目指すことになる。

# チェンジング

吉富多美 / 著

金の星社 2008年 913ヨ



歴史物語『チェンジングワールド』を読み、主人公に自分を重ね、孤独<sup>こどく</sup>に耐えていた小5の大夢<sup>たいむ</sup>。いじめっ子たちから逃げる途中、料理教室の先生・香奈子に出会う。お父さんの笑顔をもう一度見たいと、香奈子に料理を教わるようになった大夢は、野菜にも人にも、さまざまな“味”があることに気付いていく。



## 外国の文学

# 穴

ルイス・サッカー / 作 幸田敦子 / 訳  
講談社 1999年 93シ



歩いているスタンリーの頭の上に、空からスニーカーが降ってきた。そのスニーカーが盗品だったため、スタンリーは盗んだ罪を着せられ矯正施設きょうせいしせつに入ることになった。施設では、ひたすら穴を掘ることを命じられる。やがてスタンリーたちは、命がけの脱出を図る。

# チョコレート・アンダーグラウンド

アレックス・シアラー / 著 金原瑞人 / 訳  
求龍堂 2004年 933シ



選挙に勝利した健全健康党が、チョコレートをはじめとする甘いお菓子を禁止する“チョコレート禁止法”を発令し、厳しい取り締まりしを開始する。ハントリーとスマッジャーは、バビおばさんの店の倉庫にチョコレートの材料となるカカオや砂糖を発見し、おばさんとともにチョコレートの密売を始める。

# バディ たいせつな相棒

V・M・ジョーンズ / 著 田中亜希子 / 訳  
PHP研究所 2008年 93シ



12歳のジョシュには、お互いを“バディ”と呼ぶ双子の兄ジェイコブがいる。ジェイコブは、事故のため5歳のときから、リハビリセンターですごしている。あるとき、担任の先生が生徒にトライアスロン大会への参加を呼びかけた。スポーツ万能のジョシュは、参加を決めるが、全く泳げなかったのだ。そこからジョシュの挑戦が始まる。

## 沈黙のはてに

アラン・ストラットン / 著 さくまゆみこ / 訳  
あすなる書房 2006年 93ス



アフリカのサハラ砂漠<sup>さばく</sup>より南のある国。16歳のチャンダが、1歳半の妹の葬式<sup>そうしき</sup>の手配をしている。葬式が終わった後、母の具合が日に日に悪くなっていく。ひどい頭痛と関節痛、いつも疲れていて、ひどくやせてしまった。母は、大きな問題を抱えているのだ。また、チャンダ自身はエイズに感染している可能性があった。

## モギ ちいさな焼きもの師

リンダ・スー・パーク / 著 片岡しのぶ / 訳  
あすなる書房 2003年 93八



12世紀後半の韓国<sup>かんこく</sup>。モギは、毎日の食べ物にも困る生活を送っていた。唯一<sup>ゆいいつ</sup>の楽しみは、村の名焼きもの師ミンの仕事を眺めること。ある日、モギはミンの作品を誤って壊してしまい、代わりに仕事を手伝うことになる。春、王室から使者<sup>ごようたし</sup>がやってくる。宮中御用達の焼きもの師に選ばれるめったにないチャンスだった。

## 時をさまようタック

ナタリー・バビット / 作 小野和子 / 訳  
評論社 1989年 93八



森の持ち主フォスター家のひとり娘の10歳のウィニーは、厳しいしつけに嫌気がさし、家出をしようと考えた。初めて訪れた森で出会った少年ジェシイ・タックは、自分の年を104歳だといい、その上その泉の水は、どんなにのどがかわいても、飲んではいけないと忠告する。ジェシイと泉の水には、ある秘密があった。

## 種をまく人

ポール・フライシュマン / 著 片岡しのぶ / 訳  
あすなる書房 1998年 93フ



まだ寒い春の日、貧しいアパート前のゴミたけのような空き地に、  
ヴェトナムからの移民の少女、キムが6粒のライマメを蒔いた。キム  
を見守るアナ、アナに頼まれてライマメの世話をするウェンデル。み  
んなが種を蒔き、野菜や花を育て、見守っていく想いが語られる。

## クロニクル千古の闇 1 オオカミ族の少年

ミシェル・ペイヴァー / 作 さくまゆみこ / 訳  
評論社 2005年 93ハ



トラクは、12歳の少年。命を落とした父との誓い“精霊の山を探す”  
ために旅にでる。一緒に旅をするのは、オオカミの子ウルフ。なぜか  
トラクには、オオカミの言葉が分かり、ウルフと心を通わせることがで  
きた。しかし、旅の途中、ワタリガラス族の狩人たちに捕まり、族長の  
元へと連れて行かれる。全6巻。

## 家なき鳥

グロリア・ウィーラン / 著 代田亜香子 / 訳  
白水社 2007年(2001年) 933ホ



コリーは、インドの貧しい家に生まれ、13歳で会ったこともない相  
手と結婚させられるが、すぐに未亡人になる。やがて、義母にいじめ  
られ、“未亡人の町”ヴリンダーヴァンに捨てられる。持ち物は少しの  
お金とタゴールの詩集、そして、嫁入りの時に作ったキルトだけだ。

## 影との戦い ゲド戦記

アーシュラ・K.ル＝グウィン / 作 清水真砂子 / 訳  
岩波書店 1989年 93ル



多島海世界のゴント島で生まれたハイタカは、まじない師の<sup>お</sup>伯母から才能を見いだされて魔法使いへの道を歩み始め、“ゲド”という真の名まえを受けられる。ゲドは、魔法の<sup>う</sup>腕を<sup>み</sup>磨くために<sup>が</sup>ロック島の魔法学院へ行き、うぬぼれと仲間へのライバル意識から、闇の<sup>や</sup>世界の影を呼び出してしまふ。全6巻。

## ギヴァー 記憶を注ぐ者

ロイス・ローリー / 著 島津やよい / 訳  
新評論 2010年 93ラ



争いも、<sup>う</sup>飢えも、死の恐怖さえもない、穏やかな世界。そのコミュニティ内で育つ子どもたちは、“12歳の<sup>ぎ</sup>儀式”で自分の職業を告知される。ジョナスはそのコミュニティで<sup>ゆ</sup>唯一の存在である“レシーヴァー(記憶の器)”に任命され、前任の老人“ギヴァー(記憶を注ぐ者)”から「記憶」を受け継ぐ訓練を始める。

## ミムス-宮廷道化師-

リリ・タール / 作 木本栄 / 訳  
小峰書店 2009年 94タ



モンフィール国の王子フロリーンは、敵国の<sup>いん</sup>陰謀によりとらわれの身となる。そして、敵国王の<sup>き</sup>気まぐれで、<sup>き</sup>宮廷道化師ミムスの弟子にさせられてしまふ。祖国の存亡や<sup>ろ</sup>地下牢に捕らえられている父である国王や重臣たちの安否を憂いながらも、フロリーンは国の再興を信じて、<sup>ろ</sup>誇りを捨て屈辱に耐えながら、道化として生き延びる。

## 黒い兄弟 <上・下>

リザ・テツナー / 著 酒寄進一 / 訳

あすなる書房 2002年 94テ



19世紀前半のスイス。13歳の少年ジョルジョは、右ほおに傷あとのある男に売られてしまい、ロッシ親方の元で食事もろくにももらえず、苦しい煙突掃除の仕事をするようになる。つらい毎日の中、友となったアルフレドを通して、“黒い兄弟”の仲間たちと出会う。

## クラバート

オトフリート＝プロイスラー / 作 中村浩三 / 訳

偕成社 1980年 94フ



孤児の少年クラバートは、不思議な夢に導かれ、水車小屋を訪れる。そこは12人の少年が、昼は粉引き職人として働き、金曜日の夜にはカラスとなり魔法を学ぶ場所だった。師匠である親方は冷酷な人間で、死の恐怖によって弟子たちを支配している。クラバートは、魔法が持つ力に心ひかれ、熱心に学ぶようになる。

## 時の書 彫刻された石

ギヨーム・プレヴォー / 作 伊藤直子 / 訳

くもん出版 2009年 95フ



10日前、古書店を営む父親が消えた。店に手がかりを探しに来たサムは、地下室の隠し部屋で、古びた本と太陽の絵が刻まれた石、穴あきコインを見つける。はたして、これが父親を探す手がかりとなるのだろうか。続編『七枚のコイン』、『黄金の環』。

## カモメに飛ぶことを教えた猫

ルイス・セプルベダ / 著 河野万里子 / 訳  
白水社 1998年 963セ



ドイツの港町ハンブルク。バルコニーで日光浴を楽しんでいた黒猫ゾルバの元に、死にかけてカモメが飛び込んてくる。カモメは最後の力をふりしぼって卵を産み落とす。ゾルバは、「卵は食べない」「ひなが生まれるまで卵のめんどうをみる」「ひなに飛ぶことを教える」という3つの約束をカモメに<sup>ちか</sup>誓う。

## ジュリエッタ荘の幽霊

ベアトリーチェ・ソリナス・ドンギ / 作 エマヌエーラ・ブッソラーティ / 絵 長野徹 / 訳  
小峰書店 2005年 97ソ



第2次世界大戦末期、少女リッリは、母と弟の3人で、母の故郷、北イタリアの村に疎開していた。ある日、リッリは「呪われた屋敷<sup>のろやしき</sup>」と呼ばれるジュリエッタ荘の前を通りかかった時、見知らぬ白い服の少女を見かける。村人のうわさでは、かつてその屋敷に住んでいた娘の幽霊<sup>ゆうれい</sup>だと言う。





ノンフィクション

## 考える練習をしよう 子どものためのライフスタイル

マリリン・バーンズ / 著 マーサ・ウェストン / 絵 左京久代 / 訳  
晶文社 1985年 148



やっかいな問題にぶつかったとき、ただ考えればいいというものではない。頭をどう使うかが肝心だ。例えば、「シマウマの足のしまは縦かな？横かな？」、「6本のつまようじを使って、正三角形を4つ作るには？」 いろんな練習問題で、頭の体操をしてみよう。

## 伝記 世界を変えた人々 全20巻

偕成社 1991年 28テ



1903年「放射能の研究」で物理学賞を、1911年には化学賞と2つのノーベル賞を受賞した『キュリー夫人』。貧しい人々を助けた『マザー・テレサ』、喜劇王『チャップリン』、天才物理学者『アインシュタイン』、『キング牧師』など、世界に大きく貢献した人々の伝記シリーズ全20巻。

## まぼろしの大陸へ 白瀬中尉南極探検物語

池田まき子 / 著  
岩崎書店 2010年 29イ



100年ほど前、日本で初めて南極探検をした白瀬中尉。彼の一生と、その功績をよみがえらせようとした後世の人々の活動を、南極の地図や当時の写真などを交えて紹介した本。南極に関するコラムや、年表もついている。

# おばあちゃんが、ぼけた。

村瀬孝生 / 著

イーストプレス 2011年 36ム



老人たちが日々を過ごしている、“第二宅老所<sup>たくろうしょ</sup>よりあい”。老人の一見不可解な“ぼけ”たと思われる行動は、よく見てみると、一人ひとりの人生や、考え方が映し出されている。老いること、やがて死を迎えることを今までとは違った視点でとらえている。

# ヒトラー・ユーゲントの若者たち 愛国心の名のもとに

S.C.バートレッティ / 著 林田康一 / 訳

あすなる書房 2010年 37八



ヒトラーが率いるナチス党が組織したヒトラー・ユーゲント(ヒトラー青年団)に参加した少年少女と 10 代の若者たちは誇りを抱いていた。しかし、一方ではナチスに抵抗する活動を行う若者もいた。多くの資料と証言から書かれたルポルタージュ。

# 自然科学30のなぜ？ どうして？ 国立科学博物館の展示から

国立科学博物館 / 編著

さ・え・ら書房 2010年 40シ



標本、一つひとつにそれぞれストーリーがある  
東京・上野の国立科学博物館のたくさんの常設展示<sup>じょうせつ</sup>の中から 30 点を選び、実際に調査研究にたずさわった研究者がそれにまつわるストーリーを解説する。

# ガラパゴスがこわれる

藤原幸一 / 写真 文

ポプラ社 2007年 46フ



南米エクアドルの国に属するガラパゴス諸島。1978年に世界自然遺産に登録され、ダーウィンが『進化論』の考えを得た場所。世界のどこにもいない動植物が生息している。その貴重な自然が、危機を迎えている。こわしているのは私たち人間。その中で生命の危険にさらされながら生きるものたちの姿をとらえる。

# コーラベイビー あるカネミ油症患者の半生

長山淳哉 / 著

西日本新聞社 2005年 493.1ナ



1968年、北九州市の会社「カネミ倉庫」が製造・販売した天ぷら油に含まれるダイオキシン等が原因でおきた食中毒事件「カネミ油症」。患者から生まれた赤ちゃんは色が黒く、“コーラベイビー”と呼ばれた。患者への取材を通して、彼らの想像を絶する苦しみと社会との闘いを追ったノンフィクション。

# 発明家は子ども！

マーク・マカッチャン / 著 ジョン・カネル / イラスト 千葉茂樹 / 訳

晶文社 2005年 50マ



「宇宙飛行の父」と呼ばれるゴダードが最初に実験をしたのは5歳のとき。テレビを発明したファーンズワースが、仕組みを最初に思いついたのは14歳。全盲のプライユが点字を発明したのは11歳。彼らは生まれつき特別な人間だったわけではない。発明家や科学者など9人の子ども時代を紹介。

## 漁師さんの森づくり 森は海の恋人

畠山重篤 / 著 カナヨ・スギヤマ / 絵  
講談社 2000年 51頁



宮城県の気仙沼<sup>けせんぬま</sup>でカキを養殖する著者は、フランスの海辺を訪ね、コンクリートでかためた護岸がとても少ないことに驚く。川にはウナギがいて、上流には豊かな森があった。森から海まで自然は全部つながっている。気仙沼の漁師たちは、気仙沼湾にそそぐ大川の上流、室根山<sup>むろねさん</sup>に木を植える“森は海の恋人運動”を始める。

## 宇宙においでよ！

野口聡一 / 著 林公代 / 文 植田知成 / イラスト  
講談社 2008年 53頁



野口聡一<sup>そういち</sup>さんが宇宙に仕事を求めたきっかけや、宇宙に飛び立つまでのこと、実際に体験した船外活動、シャトル内や宇宙ステーションでの食事、睡眠<sup>すいみん</sup>など、行った人にしか分からない細かい部分まで書かれている。宇宙での活動の様子やシャトルの構造など、イラストや写真を使って解説している。

## 身近な野菜のなるほど観察記

稲垣栄洋 / 著 三上修 / 絵  
草思社 2005年 626頁



この本は、身近な野菜の知られざる生命の物語である。洋食のつけ合わせには千切りキャベツ。この取り合わせは、日本独特のものらしい。スコットランドではハロウィンの夜に恋人たちがキャベツで恋占<sup>うらな</sup>いをすることから、赤ちゃんはキャベツ畑で生まれると言われている。他にもユーモアと栄養に満ちた野菜のエピソード満載。

## いのちをいただく

内田美智子 / 文 諸江和美 / 絵 佐藤剛史 / 監修  
西日本新聞社 2009年 64ウ



坂本さんの仕事場は、牛を殺して肉にする食肉加工センター。父の職業を正直に言えない息子や、家族同然に育ってきた牛との別れを悲しむ少女とのエピソードが、イラストと共に書かれている。後半では、食や命に関わる仕事をしている人たちの生の声を知ることができる。

## あきらめないこと、それが冒険だ

エベレストに登るのも冒険、ゴミ拾いも冒険！

野口健 / 著  
学研 2006年 78ノ



大学在学中に世界7大最高峰登頂の最年少記録を達成した野口健さん。勉強嫌いの少年時代、やりたいことが見つからなかった高校時代。彼は偶然手にした本と、富士山とモンブランの登頂をきっかけに、登山家への道を歩み始める。やがて、彼はエベレストに日本登山隊の大量のゴミが捨てられていることを知る。

## 白川静さんに学ぶ 漢字は楽しい

小山鉄郎 / 著 白川静 / 監修  
共同通信社 2006年 821シ



漢字学の第一人者・白川静さんに、漢字の成り立ちと漢字が互いにつながっていることを教えてもらえる本。つながりを理解すれば、一つ一つ暗記する必要もないし、漢字の世界と文化圏を理解でき、自然と頭の中に入ってくる。古代文字の形やイラストも豊富。

## 美しい日本の詩歌 全 20 巻

岩崎書店 1997 年 911.5



谷川俊太郎詩集『いしころ』、新川和江詩集『地球よ』、工藤直子詩集『うたにあわせてあいうえお』などのシリーズ。

表紙は、宮澤賢治の「雨ニモマケズ」など代表作をまとめた詩集、『永訣の朝』。

## 約束の国への長い旅

篠輝久 / 著

リブリオ出版 1988 年 916 シ



1940 年、リトアニアの日本領事館の周りを埋め尽くす、ポーランドからナチスの迫害をのがれてきた、たくさんのユダヤ人難民。彼らは、日本を通して安全な国に行こうと考え、必死でビザを求めているが、ドイツと同盟を結んだ日本政府は、ビザを出すことを禁じた。リトアニアの日本領事杉原千<sup>すぎはら ちうね</sup>敵は、どう決断するのか。

## 生かされて。

イマキュレー・イリバギザ / 著 スティーヴ・アーウィン / 著 堤江実 / 訳

PHP 研究所 2006 年 936 イ



1994 年、中央アフリカのルワンダで起こったフツ族とツチ族の民族紛争<sup>ぶんそう</sup>では、100 日間で 100 万人ものツチ族が殺された。昨日まで親しく接してきた隣人が今日は敵となり、殺戮<sup>さつりく</sup>に手を染める。これは、その大虐殺<sup>ぎゃくさつ</sup>のなか、奇跡的に生き抜いたツチ族女性イマキュレーの手記である。

平成26年3月 発行  
中学生へのおすすめ本リスト  
宗像市教育委員会図書課

〒811-3437 福岡県宗像市久原400番地

TEL : 0940-37-1321 FAX : 0940-37-2956

Eメール : [tosyo@city.munakata.fukuoka.jp](mailto:tosyo@city.munakata.fukuoka.jp)